

2011年度

科目名	障害児の音楽療法				
担当教員	後藤 浩子				
配当	教福3		コード	32175	
開期	後期	講時	水曜日2限	単位数	2
授業テーマ	音楽療法				
目的と概要	障害児の音楽療法に必要な理論と技術を身につける。音楽が障害児にどのように作用するのか、その特性や降下を実践例やロールプレイを通して理解する。子どものその場の瞬間の気持ちを敏感に捉えて対応する能力を養うために、簡易楽器を使って、自己表現や即興演奏などを少人数のグループに分かれて実習する。				
成績評価法	レポート及び試験(60%) 講義時の課題発表(20%) 平常点(20%)				
テキスト					
参考書	音楽療法の基礎 村井靖児 音楽之友社 標準音楽療法入門 (上)理論編 日野原重明監修 篠田知璋編 春秋社				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	参考図書を読んでおくこと 日頃、生活している中で、音楽療法についての記事やニュースに目を向け、新聞などの切り抜きをして、興味や関心を具体化しておくこと。				
講義計画					
第1回	オリエンテーション 音楽療法とは？				
第2回	音楽療法の歴史				
第3回	音楽療法の定義				
第4回	音楽療法における音楽の意義 (1) 生理的作用				
第5回	音楽療法における音楽の意義 (2) 心理的作用①				
第6回	音楽療法における音楽の意義 (2) 心理的作用②				
第7回	音楽療法における音楽の意義 (3) 社会的作用①				
第8回	音楽療法における音楽の意義 (4) 社会的作用②				
第9回	簡易楽器による自己表現、即興演奏				
第10回	簡易楽器による自己表現、即興演奏				
第11回	いろいろな技法				
第12回	障害児と音楽				
第13回	いろいろな音楽療法				
第14回	音楽療法の実践に向けて				
第15回	まとめ				